

2025 年 1 月 6 日

救急外来における病院救命士と看護師による院内トリアージの精度の比較

◆研究の目的と概要◆

当院では、救急外来において看護師がおこなった院内トリアージと病院救命士が行った院内トリアージの精度を比較検討する臨床研究を行っています。本研究では、病院救命士の処置拡大の是非や有用性を明らかにすることを目指し、看護師の業務の一部をタスクシェアすることにより、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2024 年 6 月 1 日から、2024 年 6 月 30 日までの間に当院救急外来を受診し、看護師または病院救命士による院内トリアージを受けた方。

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、院内トリアージ時の Japan Triage and Acuity Scale（JTAS）レベル、二次検証時の JTAS レベル、トリアージ施行者の職種と経験年数

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2025 年 2 月 18 日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承ください。以下のお問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

救急科 研究責任者 市川元啓

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明